



# セミナーのご案内

date 9th September, 2009

日時：平成21年 9月 9日（水） 10：00～12：00

場所：医学研究科 C棟4階 セミナー室

講師：木山 博資  
大阪市立大学大学院医学研究科  
機能細胞形態学（医学部解剖学第一）

演題：「損傷運動ニューロン再生におけるグリアの新たな機能」

**要旨：**末梢神経再生の分子メカニズムを多角的に解析することは、様々な切り口の中枢神経再生戦略を提示してくれると考えられる。私たちは過去十数年に渡り、損傷後に運動ニューロンやグリア細胞で発現する多くの分子について、生存あるいは変性する場合には何が異なるのかを検討してきた。得られた膨大な結果を眺めてみると、損傷を受けた神経細胞のなかでは生か死を決める分子群のせめぎあい、あるいは軸索再生の過程においては軸索伸展と崩壊のせめぎあいが多数の分子群によって繰り広げられていることが見えてきた。また、損傷神経細胞とそれを取り巻くグリア細胞群との間に複雑なインターラクションが起こっていることも明らかになった。本セミナーでは、神経損傷後に生じる現象のうち、特にミクログリアとニューロンのインターラクションについて紹介したい。神経損傷後、グリアの中で最も興味深い動態を示すのがミクログリアである。ミクログリアは脳内の環境変化、特に損傷や炎症など脳のネットワーク機能を損ねる変化に対して、脳を守り適切なネットワークを良好な状態に維持するために、早期警戒や神経保護に働く。またネットワークが破綻した場合には、破綻拡散防止や崩壊組織の除去など多彩な役割を果たしている。損傷末梢神経の修復過程に着目し、ミクログリアが損傷に対して見せる応答とその異常の結果について、分子形態学的結果を紹介したい。